

北村良介先生退職記念事業趣意書

拝啓

皆様方におかれましては、時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。さて、鹿児島大学大学院理工学研究科海洋土木工学専攻教授 北村良介先生におかれましては、本年三月末日をもって退職されることになりました。

先生は、京都大学防災研究所助手として奉職されました後、昭和五十四年に講師として鹿児島大学工学部海洋土木開発工学科(現在の海洋土木工学科)に御着任されました。その後昭和五十八年には助教教授に昇任、昭和六十三年には教授に昇任され、幅広い見識と指導力を持って教育・研究活動に取り組まれてこられました。平成二年には、オーストラリアの西オーストラリア大学において訪問研究員として研鑽を積み、また学内では、平成十六年度に、工学部副学部長の要職にも従事されておられます。

この間、先生は御専門とされる土質力学・地盤工学に関連して、学部・大学院で土質力学、地盤工学、土木計画学、土質工学実験、土質力学特論等、多くの講義を教授され、幾多の人材を育成されました。

研究の面においては、確率・統計を援用した不飽和土質力学、地盤工学、斜面防災工学、火山工学などの分野において幅広く研究を重ねられ、これまで土質工学会論文奨励賞、土木学会論文賞、地盤工学会功労賞など多くの論文や著書などにその成果を記しておられます。また、主査として十三名の博士学位論文の指導を行い、これらの分野における研究の発展ならびに後進の研究者の育成に尽力なさっておられます。

また、教育研究に御尽力される傍ら、土木学会地盤工学会委員会火山工学研究小委員会委員長、国土交通省鹿児島国道事務所道路防災ドクター、鹿児島県土砂災害防止技術検討委員会委員長等多岐にわたる学外の委員や鹿児島県トリアスロン協会会長を歴任され、地域社会へも大きく貢献されてこられました。

このように、先生は、大学や学会における教育研究活動や、広く社会における土木事業分野を中心とした活動を、約四十年の長きに亘り、現在まで休みなく続けて来られたところであります。

このたび、先生の御退職にあたり、長年の先生の御苦勞と御努力、またその御功績と御貢献に対し、心から敬意と謝意を表すとともに、これからのなご一層のご活躍を祈念いたし、私ども有志が相はかりまして記念事業を計画いたしました。

つきましては、なにとぞこの趣旨に御賛同いただき、御参加・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成二十五年三月吉日

北村良介先生退職記念事業会

発起人代表

松尾

和昌(昭和五十六年卒)

各位

記

記念事業

一、北村良介先生退職記念講演会

演題 『団塊世代が歩んだ一人生』

日時 平成二十五年五月二十五日(土) 午後四時〇〇分から

場所 「ジェイドガーデンパレス」

鹿児島市上荒田町十九番一号

電話 〇九九―二五七―一二一一

二、北村良介先生退職記念祝賀会

日時 平成二十五年五月二十五日(土) 午後五時三十分から

会場 「ジェイドガーデンパレス」

会費 六千円

なお、記念講演会終了後、参会者の皆様方との記念撮影を予定しています。合わせてご参加の程お願いします。

三、記念品贈呈

献金 金額一口(二千円)以上

記念品については、記念事業会事務局に御一任ください。

四、申し込み方法

祝賀会及び記念品の参加につきましては、同封いたしました振り込み用紙に、祝賀会会費及び記念品献金の内容を記載して送金をお願いします。振り込みをもって、申し込みに換えさせていただきます。

(締め切り日)平成二十五年四月末日

(振り込み先) 郵便振替口座「〇一七―〇―九―一三六六五」

「北村良介先生退職記念事業会」

(同封の郵便振替用紙をご利用ください)

○連絡先

鹿児島大学工学部海洋土木工学科 酒匂 一成

〒八九〇―〇〇六五 鹿児島市郡元一―二二一―四〇

電話〇九九―二八五―八四七二 (sakko@oce.kagoshima-u.ac.jp)

記念事業事務局 松尾 和昌、高田 誠、木佐貫 浄治、宮本 裕二、酒匂 一成、小屋敷 洋平

癸起人氏名(敬称略、五十音順)

浅野 敏之	安達 貴浩	荒木 功平	石野 孝樹	入来 秀徳	柿沼 太郎
川井田 実	川上 久志	川畑 健祐	木佐貫 浄治	木村 至伸	小屋敷 洋平
齋田 倫範	酒匂 一成	島田 龍郎	城本 一義	新地 正志	高田 誠
田口 博文	武若 耕司	田平 秀樹	堤 宏徳	中野裕 二郎	奈須 徹夫
萩 亮	橋口 高行	春口 哲也	堀之内 毅	本田 信孝	松尾 和昌
松元 真一	三隅 浩二	宮本 裕二	山口 明伸	山下 健作	山下 哲也
山城 徹	山田 満秀	山本健 太郎	横山 真之	横山 大介	